

向山通信

1月号

令和4年1月8日



向山小学校の教育目標：○やりぬく子 ○思いやりのある子 ◎よく考える子

「かつ」を入れる

校長 小池 智彦

新年あけましておめでとうございます。今年の正月は久しぶりに湯島天神で初詣をし、向山小学校に通う子供たちと保護者、地域の皆様にとって素晴らしい1年になることを願うとともに、新年の決意表明をしてきました。

皆さんは、「かつを入れる」の「かつ」に、どの漢字を当てはめますか。私は、ずっと「喝」だと思っていました。某テレビ番組の長老スポーツコメンテーター（ご意見番）の「喝！」の影響なのでは。あの様子を見て、すっかり「喝を入れている」のだと勝手に思い込んでいたのです。

しかし、正しくは「活を入れる」です。ネット検索をしてみると、私と同様に誤用している例がかなりあるのだそうです。そこで、「活」と「喝」では、どのように違うのかをさらに調べてみました。

活 1 生きること。生きていること。2 気絶した人に意識を取り戻させる術。3 活発なこと。生き生きしていること。（熟語）「活気・活動・活発・活躍・活力・快活」
「2」の意味が転じて、元気を失った人に元気をつけることを「活を入れる」というそうです。

喝 1 大声で叱り飛ばすこと。または、その際の掛け声。2 やんやと声を掛けること。3 おどすこと。（熟語）「喝破・一喝・喝采・恐喝・恫喝」

ある解説には、「僧侶が修行者を叱責するときに放たれる言葉で、警策（きょうさく）という竹の棒で肩を「バシッ」と叩くことで修行僧の仏性になげかけることを指します。」と書かれていました。

このように比べてみると違いは明らかです。「活」は相手を元気づけたり、励ましたり、勇気を与えたりするときに入れるもので、「喝」は相手を叱ったり、矯正したり、脅かしたりするときに発するものであるのです。（あのご意見番の場合は「一喝する」にあたります。）

皆さんは、日常生活の中で、子供に「かつを入れる」場面が少なからずあると思います。そのとき、どちらの「かつ」になっているのでしょうか。

自分自身を振り返ってみると、「活」のつもりがいつのまにか「喝」になっていることがありました。「叱咤激励」の「叱咤」が強く出てしまい、子供からすれば、励まされているより叱られている気持ちになってしまうパターンです。これではかえって逆効果です。子供は前向きにチャレンジするどころか、叱られるのを恐れて積極的に行動しなくなってしまいます。

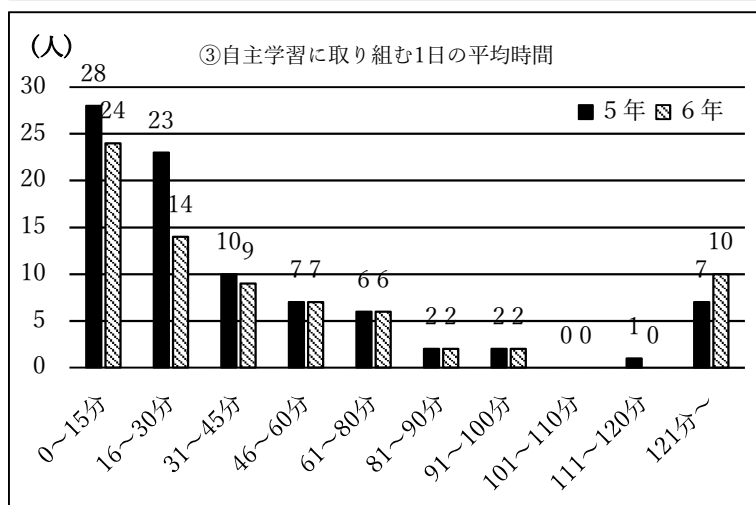
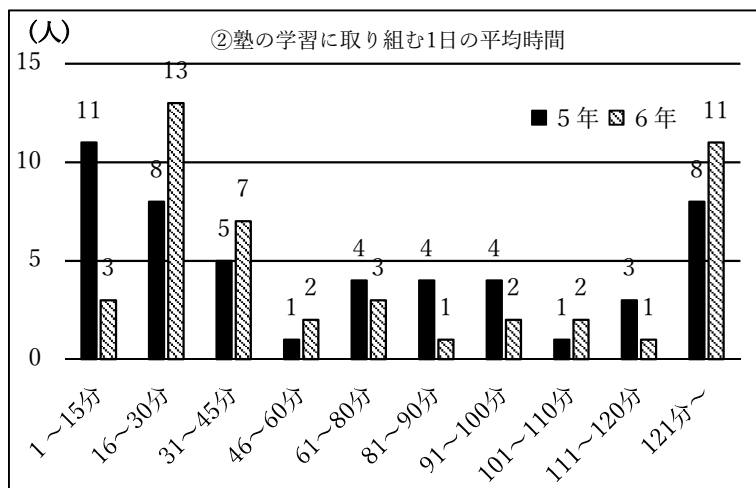
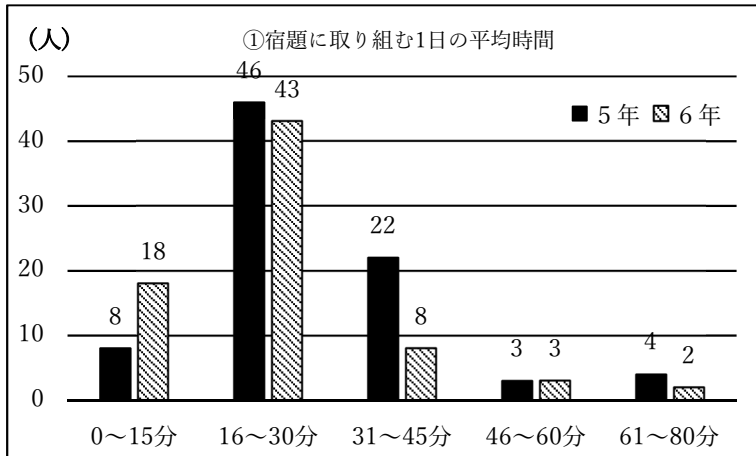
私たちが育てたいのは、自分で考え行動できる自立した子供、自分を律し、よく考えて行動する子供です。そのために大人は、元気づけ、励まし続ける存在でありたいものです。

長らく続くコロナ禍は子供たちの心と体に大きな影響を与えました。向山小の子供たちも然りです。そんな子供たちに「活」を入れる1年にしたい、と強く決意をした年初めでした。

家庭学習調査（令和3年10月実施）まとめ

今年度向山小学校では、7月と10月に小中一貫教育の取組の一環として、5・6年生を対象に「家庭学習時間」の調査をしました。以下に10月に実施した結果と考察をお知らせします。同様の調査を南町小、開進第二中でも行いました。

◎家庭学習調査の結果（グラフ）と考察



〈考察〉

①宿題に取り組む1日の平均時間

7月と同様に、毎日の宿題は30分程度の時間で取り組んでいます。宿題によって学習時間の目安である「学年×10分間」の半分程度を達成していることとなります。

②塾の学習に取り組む1日の平均時間

6年生の取組時間で一番多かったのは、7月と同じく16～30分でした。また、121分以上の児童が5人増え11人になりました。6年生の塾の学習時間は全体として少し増えてきているようです。

5年生の取組時間で一番多かったのは、1～15分でした。7月は45分あたりと121分が多かったため、全体として塾の学習時間は減っているようです。

③自主学習に取り組む1日の平均時間

自主学習時間は、5年生・6年生ともに、0～15分の児童が最も多いという結果で、7月と大きな変化はありませんでした。

●学習時間の目安「学年×10分間」

グラフでは示していませんが、5年生は目安の50分を超えている児童の割合は、約76%でした。6年生は目安の60分を超えている児童の割合は、約72%でした。

7月と比べどちらの学年も、それぞれの平均時間に大きな変化はありませんでした。7月の結果を受け、9月から自主学習の指導など改善を図ってきました。各学年にあった学習時間を意識していけるように、引き続き指導を続けていきます。

学校では、学力向上の面から、5・6年生を中学校への準備段階と位置付けています。そのため、宿題時間だけでなく、自主学習の時間が重要と考えます。今後も、自主学習の計画やめあてを意識させることや、取組内容の提示や友達との取組内容の共有などを行い、自分が学びたいことや身に付けなくてはならない課題などに向かって、自らすすんで取り組む児童を育てていきます。

学年音楽公開(12月13・20日実施) 保護者アンケートより

- 子供たちの少し緊張しながらも頑張る姿を直に観ることができ、とても素敵な時間でした。クラスごとの発表だったのでゆったりと鑑賞できました。保護者席も間隔が取られていたので子供たち全体がよく見えたのもよかったです。校長先生が仰っていたように、悲観的になるのではなくできることを工夫して行うという姿勢は、子供たちにもためになる経験だと感じました。
- 様々な制限がある中で、先生方のご指導のもと、子供たちが一生懸命練習してきた成果が発揮されていて、素晴らしいものでした。待っている間の態度もよかったです。それぞれのクラスで発表する前に子供たちが頑張ったことや頑張りたいこと、曲についてのことなどを大きな声で発表してくれたのもよかったです。コロナでなかなか学校での様子を見ることもできませんでしたが、音楽公開の様子を見て、3年生になってこんなふうに見えるようになったんだと、成長を感じることができました。素敵な時間をありがとうございました。
- 素晴らしい音楽会でした。コロナ流行でたくさんの制約があった中、先生方がいろいろ工夫をして音楽の授業をしてくださったのを感じました。子供たちが緊張した面持ちで一生懸命演奏する姿がとても素敵でした。待っている間の様子を見ても、担任の先生と子供たちに信頼関係がしっかりできているのが見えて安心しました。
- 感染対策がしっかりされていて安心できました。また、座席移動に関して、校長先生よりお話を頂戴し、クラスごとの席の移動もスムーズに行われていました。子供たちの力強い、心のこもった演奏を聴かせてもらい、心から感動致しました。先生方、お手伝いして下さった保護者の方、そしてもちろん子供たちに感謝の気持ちでいっぱいです。
- 素晴らしい音楽会でした。楽しく親しみやすい選曲で、子供たちが生き生きと演奏していたのが印象的でした。自宅でビデオを見た下の子は、自分も演奏してみたいから6年生の楽譜が欲しいと言っていて、聞いている側もわくわくする気持ちになれました。コロナで合唱ができませんでしたが、その分いろいろな楽器に触れることができ、子供たちの音楽に対する視野が広がったと思います。創意工夫したこのような会を開催いただき、本当にありがとうございました。
- コロナ禍での音楽の授業が制限されていること、曲目が簡単なものであることから、2年生らしい演奏を予想していました。しかし、はじめの言葉や楽器紹介のパフォーマンス、強弱の表現やジャズアレンジ等、どこかの楽団のような、とても素敵な演奏会でした。子供たちにも良い経験になりました、ありがとうございました。
- まずは先生方はじめ、PTAのお手伝いの方々、発表会を開いてくださった方々に、このような素晴らしい発表会を開いてくださり感謝いたします。クラスごとの発表会はずごく見応えがあり、それぞれの個性が光見られました。成長した子供たちの姿は立派で、中学生の部活動さながら、ひとまわり大きく見えて胸が熱くなりました。
- このような発表会を開いていただき、ありがとうございました。子供たちの成長を間近で感じられてとても嬉しく感じました。クラスごとの発表はとても見応えがあってよかったです。先生方はじめ、たくさんの時間と苦労もあったかと思いますが、完成度も高く、胸が熱くなりました。緊急事態が出てでもできるようにと考えてくださった事、とても嬉しく思います。ありがとうございました。そしてお疲れ様でした。

▲マスクで誰がセリフを言っているのか分からない

- ・演奏の時だけマスクを外してもよかったですのではないかと思います。子供たちの生き生きした表情も見えなかったです。
- ・楽器説明の時に誰が今話しているかがマスクで分からなかったのを手を挙げる等して下さると良かった。
- ・区のコロナ感染予防方針に従ってマスクをしています。演奏の途中で台詞を言うクラスもあり、マスクを外さず演奏しました。手を挙げて発言するなど考えましたが、曲紹介～演奏までの流れを止めないことを優先しました。

▲未就学児の同伴について

- ・下に子供たちがいる親に関しては預け先をどこに願いますかといういろいろ大変だったと思います。親が近くにいない人もいますし、近所の方に子供たちを預けることもできません。我が家はファミリーサポートにお願いしました。預け先が決まったので見に行くことができましたが、預け先がない方を見に行くことができないと思うと子連れで参加でもいけるような会が正直希望です。
- ・今回は、特にコロナ感染症対策として未就学児の鑑賞をお断りしました。2年後の今回は、未就学児をお連れの方も鑑賞できる方法を検討します。

▲座席の移動について

- ・保護者の座席の移動については、クラスごとの境が少し分りにくく、追い抜きの様な事がありました。同じ番号の座席に移動するなどがあれば分かりやすかったかもしれません。
- ・席に番号をつけるのは、学年によって2クラス・3クラスの学級があり難しく、できませんでした。次回は、学級ごとではなく、学年ごとでの発表に戻す予定です。

▲DVDの販売について

- ・運動会のようにDVDを作ってみんなが見られるようにしてほしいです。
- ・運動会とは違い、固定でのビデオ撮影が主になるため、児童の映像を映さない方針のご家庭のお子さんを映り込まないようにする配慮が難しいです。

1 月行事予定

- 8日(土) 土曜授業日 学校公開 始業式
10日(月) 成人の日
11日(火) 給食始 計測4年 席書会5・6年
12日(水) 計測6年 委員会活動
14日(金) 図書委員会集会 安全指導日
計測5年 オリパラ授業4年
向山スクール
17日(月) 計測3年
18日(火) 計測2年
19日(水) 計測1年 クラブ活動
21日(金) 音楽朝会
24日(月) 校内書き初め展始(2/12まで)
25日(火) ハッピータイム
26日(水) クラブ活動(クラブ見学)
27日(木) 避難訓練
28日(金) 児童集会 向山スクール

<2月の予定>

- 2日(水) 委員会活動
オンライン社会科見学5年
4日(金) 保健委員会集会 安全指導日
向山スクール

◆生活目標

「健康に注意し、体をきたえよう」

◆あいさつ目標

「ましがいは、すなおな気持ちで
『ごめんなさい』」

◆保健目標

「冬を元気にすごそう」

◆給食目標

「食べ物を大切にしよう」

校内書きぞめ展について

1月24日(月)から2月12日(土)まで、各教室の廊下に子供たちの書きぞめが展示されます。1・2年生は硬筆、3年生以上は毛筆の作品です。

書写の授業においては、「正しい姿勢で」「一字一字、集中して書く」といった心構えのもと、各学年のめあてを意識して学習しています。納得がいくまで書いたり、集中を途切れさせず書いたりすることは、自分と向き合う良い機会です。丁寧に心をこめて書いた美しい文字を見ながら、子供たちは毎年自分の成長を感じることでしょう。

ぜひ2月12日(土)の学校公開には、授業と併せて、子供たちの力作をじっくりとご覧いただければ幸いです。その日にご覧いただけない場合は、書きぞめ展期間中の平日 15:30-16:30 も鑑賞できますので、連絡帳で担任とご相談ください。

国語部

5年生の窓

コロナ禍ではありますが、そんな中でも子供たちの学びを充実させたいという思いから、お米の学校、オンライン社会科見学など、様々な活動を取り入れてきました。先日は、オリパラ教育の一環として、本校卒業生であり、オリンピック柔道選手であるシャー選手をお呼びして、講演会を開きました。

シャー選手が大切にしてきた言葉は、「夢・努力・言葉遣い」。夢を叶えるためには、得意なことも頑張るけれど、苦手なことにも取り組む必要があること。「ありがとう」「ごめんなさい」の挨拶を大切にしてほしいこと。真剣に耳を傾けていた子供たち。一つ一つの言葉が、胸にしっかりと刻まれました。

最後には柔道の技を実際に見せてもらい、その迫力に圧倒されていました。そして、休み時間には一緒に「鬼ごっこ」や「だるまさんが転んだ」で遊んでもらいました。皆にとって忘れられない出会いになりました。

5年担任

ユニセフ募金のお願い

代表委員会では、コロナの影響により満足な食事ができない、治療を受けられない世界中の子供たちに支援をしたいと考え、募金活動をするにしました。集められたお金はユニセフ本部に送金され、全ての子供たちの健康と幸せのために使われます。どうぞ趣旨をご理解の上、ご協力よろしくお願い致します。

期間：1月25日(火)～27日(木)

登校時間に代表委員が募金箱を持って立っています。

特別活動部

